

公IV-2 経済社会で生きる 私たち 利害対立がわかる

本日のテーマ

利害対立について、わかります。

キーワード

□利害対立：利益、損害

□市場

□国家、社会契約説

□公共財、所得の再分配

利害対立とは、何ですか？

利害とは、利益 (profit) と損害 (loss) ということです。

Aさんが利益を得ると、Bさんが損害を被る。

Aさんが損害を被ると、Bさんが利益を得る。

こうした状態を、利害対立と言います。

社会は、個人の集まりですから、様々な利害対立があります。

利害対立を、どのように解決しますか？

①市場と②国家の2つの方法があります。

①市場

市場とは、商品の売り買いをする場所です。

市場が、利害対立を解決できる理由は、2つあります。

1つ目は、価格が決まることです。

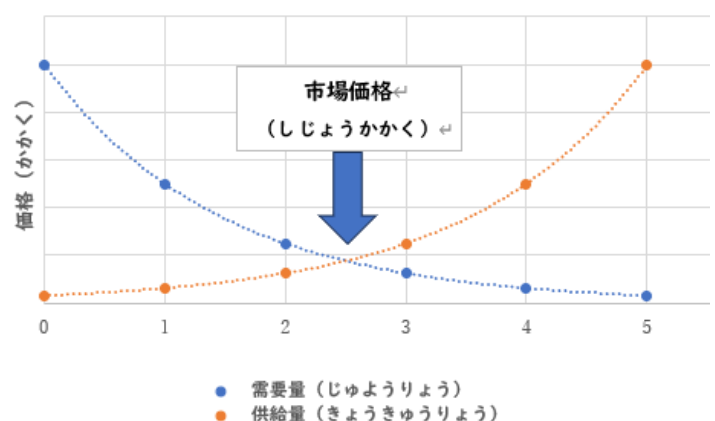
商品の価格は、需要と供給のバランスによって、決まります。

2つ目は、自由に買えることです。

その商品が欲しいと思ったら、買えます。

買うことは、誰かが強制するものではないです。

需要 (じゅうよう) と供給 (きょうきゅう) のバランス



②国家

利害対立を解決する方法の2つ目は、国家です。

どうして、国家があるのでしょうか？

社会契約説の考え方を紹介します。

自分の利益を増やそうと思ったら、どうしますか？

他の人が持っているものを奪ったり、嘘をついてだましたりします。

そうすると、人々はいつでも戦わなければならなくなります（万人の万人に対する闘争）。

しかし、これでは自分の利益を得ることが、できません。

だから、人々は自分が利益を求める権利を国家に渡しました。

そして、国家が人々の権利を保護するように、お願いしたのです。

これが、社会契約という考え方です。



国家は、どのように、利害対立を解決しますか？

① 公共財の提供 と、② 所得の再分配 をします。

①公共財の提供

国家は、人々が使う公共財を提供します。

公共財とは、道路、公園、警察、消防などです。

こうしたものは、利益があまりありません。

ですから、ビジネスになりません。

企業が提供しないものを、国家が提供します。



②所得の再分配

国家は、国民から税金を徴収（collect）します。

その時に、お金をたくさん持っている人から多く税金を徴収します。

これが、累進課税という方法です。

そして、お金を持っていない人に対する支援を行います。

そうすると、お金を持っている人のお金が、持っていない人へと再配分されます。

★利害対立をどのように解決しますか。学んだことを書きましょう。
